

看護研究支援会の活動について



りしながら進めている仲間に出会えることも励みとなり、研究に取り組む原動力になることがあります。

「研究には取り組んでいないけど、看護研究に関心がある」といった方の参加も大歓迎です。一緒に学ぶ場として、皆さんに活用していただけることを願っています。

(8 東看護師長 中野美佳)

昨年、看護研究を支援する会を立ち上げ、今年度は定期的で開催しています。「看護研究に取り組みたいけど、どの様にして進めたら良いかわからない」・・・この様な気持ちに伝えることのできる場を目指しています。

相談者と参加者が自由に意見や気づきを伝え合いながら看護研究を進めています。看護研究だからと構えず、気楽に参加してみませんか？同じように困ったり、立ち止まったり



福島区民まつりへの参加を通じて…



毎年、下福島公園で開催されている「福島区民まつり」ですが、今年は台風による天候不良のため中止となりました。

そこで昨年参加したことについて報告します。当院の助産師は数年前から毎年参加し、沐浴体験や看護師体験、新生児人形の抱っこ・着せ替え体験等を行なっています。まつりを通じて、地域住民の方々とふれあいながら、当院の存在や福島区内で唯一の分娩取扱施設である事を伝えること、助産師として生命の大切さを伝えていきます。また施設外でも活動の場があることを各々の助産師が実体験し、活動の場を広げる機会にもして

います。病院から一歩外に出ることで、当院で出産されたご家族の笑顔やお子さんの成長を目の当たりにし、助産師としてホッとすると時を過ごしています。

地域に根ざす病院として、助産師・看護師にはできることが沢山あります。興味・関心のある方、まつりに参加して、当院のことや看護師の専門性を一緒に地域住民の方に伝えてみませんか。

(8 東看護師長 中野美佳)

2017 年度 CN・CNS 会報告会



昨年度に引き続き今年度も CN/CNS 活動報告会を開催いたしました。この報告会は、①自身の役割・活動内容を広報し、リソースとして活用してもらう。②CN/CNS が提供した看護ケアを現場ケアに活かしてもらう。③スペシャリストへのキャリアアップを考えてもらう機会にしてもらう。④CN/CNS 自身のスキルアップに繋げることができる、を目標にしています。今年度は 5 名が 1 年間の専門分野における実践活動や、事例報告をしました。看護師 111 名の参加があり、アンケートでは、「CN/CNS の活動内容がわかり今後も患者さんのケア向上のために協働していきたい」「CN/CNS の事例に対するアセスメントの過程が良く分かった」など好評な結果をいただきました。今後も日々の実践を通して、スペシャリストとしてのスキルを向上させ、そのやりがいや楽しさをアピールし、更に CN/CNS を目指す人材発掘をしていきたいと考えております。

(看護ケア推進室室長 柴谷涼子)



「きらり☆リンクナース」 ～認知症ケア実行委員会～

今回は認知症ケア実行委員のリンクナースの活動について語って頂きました！



私は、昨年度の発足時から認知症ケア実行委員会の活動にリンクナースとして活動しています。認知症ケア実行委員会は「認知症およびそれらが疑われる患者および家族が安心して療養生活を送ることができるよう、認知症ケアの質の向上を図る」ことを目的としています。

委員会活動を行うまでは認知症患者への看護の知識がほとんど無かった為、認知症患者は入院中にせん妄や周辺症状を起こしても上手く対処できませんでした。それが、院内・院外の認知症ケアの研修を受け、委員会での事例検討や、病棟での認知症ケアチームの回診のカンファレンスに参加することで、認知症患者に対するかわりを学ぶことが出来ました。認知症患者が個々に感じている恐怖や不安は何かをコミュニケーションの中から思いを巡らせ、出来るだけ認知症患者が安心して療養出来るように援助することで、せん妄や周辺症状が予防・緩和できるとわかりました。

時間や人手のない中で難しいことではありますが、認知症患者がせん妄や周辺症状を起こさず安心して療養生活を送れるよう、自己学習や委員会で認知症患者に対するより効果的な関わり方を探り、病棟スタッフと共有し、それを積み重ねていくことで、病棟に認知症看護を定着していけるようにこれからも精進したいと思います。

(10 階西病棟 安倍 真裕菜)



「行ってきました！健康講座」



2017年8月17日、大阪市福島区居宅介護支援事業者連絡会の方にお招きいただき、「透析について」というテーマでお話させて頂きました。じりじりと暑い中、49名の方に参加して頂き、感謝しております。

透析治療を受けておられる患者さんは年々増加しており、支援の手

助けになれば幸いです。今後も地域の方々のニーズに応じた勉強会の企画に参加させて頂きたいと思っております。

(透析看護認定看護師 酒井圭子)



新メンバーの紹介

4月よりJCHO神戸中央病院より異動して来ました。前病院では、呼吸器・循環器内科、脳神経外科、緩和ケア病棟の師長を経験して来ました。現在は看護部の業務を担当しています。就任して半年、今はまだ看護業務や部署の環境などを把握することに力を注いでいますが、今後は患者様には安心・安全な看護を提供するために、看護職員の皆様には生き生きと働けるように、職場の環境整備に努めていきたいと思っています。宜しくお願い致します。

(副看護部長 喜多由賀里)



初めまして、4月より医療安全管理室で活動しています、倉智純子です。病棟での勤務からガラッと変わり、日々新人の時のような新たな気持ちで過ごしています。異動して改めて医療現場は危険と隣り合わせであることを痛感し、安全文化の醸成の大切さを強く感じました。まだまだ未熟ではありますが、患者さん・ご家族に寄り添った看護ケア、安心安全な医療が提供できるようみなさんと一緒に考え、少しでもお力添えができるよう頑張ります。見かけた時には気軽に声をかけてください。

(医療安全管理室 専任リスクマネージャー 倉智純子)



急激な発症や事故で、生命の危機的状況にある患者さんとそのご家族への看護を深めていきたいと思い、今年度、救急看護認定看護師を取得しました。まだまだ未熟な点もたくさんありますが、学んだことをひとつずつ実践に活かせるよう、努めてまいります。現在はICUに所属し、刻々と変化する患者さんに対し、根拠に基づいたフィジカルアセスメントを実践し、社会復帰にむけて回復過程をたどることができるよう日々取り組んでいます。集中治療室での8週間研修や院内研修でお会いすることもあるかと思います。よろしく申し上げます。

(集中治療室 救急看護認定看護師 林奈央子)





当院の資格取得者の紹介



「日本禁煙学会専門指導看護師」内科外来 森田和美

5年の禁煙指導歴があり、日本禁煙学会主催の研修カリキュラムを終了し試験に合格することで取得できます。私は内科外来で禁煙外来と、禁煙教室に携わっています。これまでに禁煙指導ができるスタッフを5名育成し、内科外来では4名のスタッフで禁煙指導を行っています。全ての患者さんが禁煙することが望ましいのですが、禁煙はニコチン依存症であるためその離脱は困難で、ニコチン依存の仕組みと、患者さんの心理を理解して禁煙の道へ導き、患者さんの健康寿命を延ばしていければと思います活動しています。



「リンパ浮腫療法士」乳腺外科外来 西川紀子

2011年に日本医療リンパドレナージ協会認定セラピスト・中級の資格を取得、2013年に日本リンパ浮腫治療学会認定のリンパ浮腫療法士の資格を取得しました。主に乳がんや婦人科がんの術後、続発性リンパ浮腫の患者さんに対し、医師の指示のもとリンパ浮腫治療（スキンケア、用手的リンパドレナージ、圧迫療法、圧迫下における運動療法）の指導と実施、弾性着衣の選択、日常生活指導などを行っています。また、スタッフに対してリンパ浮腫ケアに関するコンサルテーションや勉強会の開催なども行っています。今後も役割が発揮できるように頑張りたいと思います。



「自己血輸血看護師、臨床輸血看護師」治療検査外来 金部公美

自己血輸血看護師（学会認定）の役割は、患者様の不安の軽減、合併症のない採血、確実に安全な返血を目的に、医師、検査技師と協力し看護することです。私は、外来治療センターで自己血採血に携わる中、2014年にこの資格を取得しました。安全な自己血採血を目指し、採血中は患者様のそばに寄り添い、血管迷走神経反応の早期発見と予防に努めています。また、ガイドラインに基づいた清潔操作により採血を実施することで細菌汚染のない安全な返血ができるように実践しています。同時に遅発性の合併症で日常生活に支障をきたさないよう帰宅後のセルフケア支援にも力を入れています。今後も役割が発揮できるように頑張りたいと思います。



編集後記

今回掲載した以外にも当院には沢山の資格取得者が在籍しており、様々な場面で活躍されています。また、今年は残念ながら中止となりましたが、福島区民まつりなど地域に出て活動していることもあります。私たちの強みを活かしながら、地域の皆さまと協力・連携し、より良い看護を提供できたら良いなと思いました。(長谷川真紀)